

## 第3学年 外国語活動（英語活動）指導案

日 時： 平成21年10月8日（木）公開授業Ⅱ  
児 童： 男8名 女9名 計17名  
指導者： 担 任 伊 東 由紀子（T1）  
          支援員 佐々木 マリア（T2）  
場 所： 3年教室

### 1 単元名 レストランへ行こう

### 2 単元について

本単元では、“What do you want？”という問いに対して“I want ～.”で自分の欲しい物を伝え、相手とコミュニケーションを図り自分の欲しい物を手に入れるという活動を設定した。レストランで自分の欲しいものを注文しなければならないという状況を作り、相手に伝わるように、相手を見てはっきりした声で話すことによって、自分の望んだものがトレイの上に揃っていくという経験をさせたいと考える。

児童は、これまで3単元にわたって行ってきた英語活動の時間をとても楽しんでいる。担任やALTとの関わりの中でゲームや歌を楽しんできた低学年の活動と比べると、友だちと関わることによって、相手との距離が近くなったり、自分の気持ちを伝えることができたりするということに気付き始め、相手と双方向で行うコミュニケーションを楽しむことができるようになってきている。しかし、まだ相手の話をよく聞くことができなかつたり、自信がないと声が小さくなってしまいう児童が大半である。

そこで、本時では、児童の興味があるレストランのディッシュ（料理やジュースなどレストランのメニューにあるもの）を題材とし、相手の問いをよく聞いて自分の欲しいものを注文するという活動を行うこととした。あすなろタイムによる導入では、果物の名前や野菜の名前など、既習事項を想起させるとともに、ゲームやチャンツを通して“What do you want？”“I want ～.”というやりとりに十分親しませたい。本時でも既習した果物の名前や野菜の名前を活用し、野菜サラダ、フルーツジュース、そしてメインディッシュをトレイに並べていくことで、相手と英語でコミュニケーションをした結果、目的が達成できたという経験をさせたい。（場の設定）

本時の視点である、アイコンタクト、ラウドボイスについては活動の節目や児童の様子を捉えて促す声かけをしていきたい。自己による振り返り際には、この2つの視点について自己評価させたい。また、児童はご褒美シールをととても楽しみにしているので、最後に指導者からシールをもらう場を設定し、次の活動への意欲につなげていきたい。（評価の工夫）

### 3 単元の目標

野菜、果物、料理の名前や“I want ～.”の表現を使って自分の要求を伝え、レストランでトレイの上にディッシュを並べるという目的を達成しようとする。

### 4 単元の評価規準

#### （1）コミュニケーションへの関心・意欲・態度

- ・友だちと一緒に楽しんでゲームやチャンツの活動をしようとする。
- ・自分の要求を伝え目的を達成しようとする。

## 5 単元計画

<あすなるタイム 15分×5 本時 45分×1>

時	目標と主な活動	言語材料	
		表現	語彙
あ す な ろ 1	○果物の名前を思い出しながらゲームをする。 ・フルーツバスケット	What do you want ? I want ~.	apple, banana, kentalop, strawberry, lemon
あ す な ろ 2	○野菜の名前を思い出しながらゲームをする。 ・において野菜当てゲーム	What do you want ? I want ~.	cucumber, radish, cabbage, poteto, carrot
あ す な ろ 3	○動物や虫になり、欲しいものをもらう遊びをする。	What do you want ? I want ~.	apple, banana, kentalop, strawberry, lemon, cucumber, radish, cabbage, poteto, carrot
本 時	◎レストランでディッシュを注文する活動を通して、英語の音感に親しみ、自信を持って相手に注文しようとする。 ・レストランで自分の欲しいディッシュを注文する活動をする。 ◇レストランでディッシュを注文する活動を通して、英語の音感に親しみ、自信を持って相手に注文しようとしていたか。	What do you want ? I want ~. Thank you .	curry, pizza, fried rice, spagetti, hamburger
あ す な ろ 4/5	○自分のトレイをみんなに見せながらショーアンドテルをする。		

## 6 本時の活動

### (1) 目標

レストランでディッシュを注文をする活動を通して、英語の音感に親しみ、自信を持って相手に注文しようとする。

### (2) 仮説に関わる具体的な手立て

「生き生きとコミュニケーションをしようとする子どもの育成」を目指すために、次の手立てを取り入れて学習活動を展開する。

#### ①仮説1（他者との関わりを楽しく体験する場の設定）に関わって

ア 既習事項を総合的に扱うことによって、新出表現や語彙に戸惑うことなくコミュニケーションに集中できるような場を設定し、児童に楽しさとともに自信を持った活動をさせる。

#### ②仮説2（効果的な評価の工夫）に関わって

ア 活動全般を通して二つの視点（アイコンタクト、ラウドボイス）を意識させる声かけや賞賛を行い、終末時には二つの視点から自己評価をさせる。

（自己評価）

(3) 展開

段階	学習活動			留意点
	児童	T1	T2	
Greeting warm-up 3分	1 あいさつをする。  2 歌を歌う ♪ Hello Song ♪ ♪ Apple and Banana ♪	・児童と一緒にあいさつをする。  ・児童と一緒に歌う。	・児童にあいさつをする。  ・児童と一緒に歌う。	・明るい雰囲気を作り活動に期待感を持たせる。 ・ラウドボイスを意識させる。
Review 10分	3 果物と野菜の語彙を復習する。  ・チャンツで発音 ・キーワードゲーム ・カードはどこだゲーム	・ゲームの指示をする。  ・児童の中に入りゲームをする。	・チャンツをリードする。  ・ゲームのリードをする。	・はっきりとした声を出している児童や積極的に参加しようとしている児童を誉める。 ・ゲームでトラブルが起きないように配慮をする。
Main Lesson 27分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>レストランで好きなものを注文しよう</p> </div> <p>4 本時の活動を把握する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(ラウドボイス)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の欲しいものをはっきり伝える。</li> <li>(アイコンタクト)</li> <li>・顔を上げて相手を見ながら伝える。</li> </ul> </div> <p>5 メニューの語彙を練習する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてを確認する。</li> <li>・T1,T2 で会話場面を演じる。</li> <li>T2:What do you want ?</li> <li>T1:I want ~.</li> <li>T1:Thank you.</li> <li>T2:You are welcome.</li> <li>・本時の視点を確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の自己評価のポイントを具体的に例示する。(仮説2ア)</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体、男子、女子など指示を出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話場面を演じる。</li> <li>・ラウドボイス、アイコンタクトの模範を示す。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リピート、チャンツをリードす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T1,T2 の演技は大きに行う。</li> <li>・欲しいものを正確に注文するためにはラウドボイス、アイコンタクトが大切なことを知らせる。</li> <li>・よく知っている料理でも英語独</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リピート練習</li> <li>・チャンツ練習</li> </ul> <p>6 自分の好きなディッシュを注文する活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メインディッシュ、野菜サラダ、フルーツジュースの3つのブースを回り、自分のトレイを完成させる。</li> </ul> <p>7 指導者の分のディッシュを取ってくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挙手した中から指名された児童が取ってくる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項が含まれているので自信を持って大きな声で注文をさせる。 (仮説1ア)</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜サラダのブースで店員になり児童とコミュニケーションをする。</li> <li>・積極的な児童を賞賛し全体の意欲を高める。</li> </ul>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メインディッシュのブースで店員になり児童とコミュニケーションをする。</li> </ul>	<p>特の発音をすることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の “What do you want ? ” “I want ~.” と抱き合わせることで抵抗感を軽減する。</li> <li>・フルーツジュースのブースにはお手伝いの教員に入ってもらおう。</li> <li>・全員のトレイを完成させようという気持ちを喚起する。</li> </ul>
End of Lesson  5分	<p>8 今日の授業の感想を発表する。</p> <p>9 今日の視点について自己評価をする。</p> <p>10 歌を歌う。 ♪ Good Bye Song ♪</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次への意欲につながるようなコメントをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で短い賞賛をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご褒美シールを与える際には T2 と Thank you.などの会話をさせる。</li> <li>・ハイタッチをすることで次時への意欲を持ちマリア先生と別れるようにさせる。</li> </ul>

(4) 評価

レストランでディッシュを注文する活動を通して、英語の音感に親しみ、自信を持って相手に注文しようとしていたか。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)